

1873

五

決裁指定
保存期限
十年

大臣
主務局長

受番
領受

大正五年十二月三日
大正五年十二月四日
大正五年十二月八日

行決
後回

局長

大臣
次官
政務次官

主務局長
高級副官
參事官

主務課長
主務課長

主務課長
主務課長

主務課長
主務課長

主務課長
主務課長

主務課長
主務課長

主務課長
主務課長

主務課長
主務課長

受番
領受

陸軍省經理局監査課

陸軍省經理局監査課

陸軍省經理局監査課

陸軍省經理局監査課

政務次官
回付決裁
後連帶
課名

2. 1. 21 時
建等課

2. 1. 19 時
本務課

陸軍省經理局第三課

15. 12. 22 時
午後 2 時
監査課

決裁

陸軍

副官ヨリ第九(第六)師團參謀長「航空本部

長宛

本年一月(二月)ヨリ二月別表ノ通陸軍省經理局

監査課長ヲレテ貴師管各部隊「明野陸軍飛

行學校」會計經理ノ實地検査ヲ施行セシメラル

ニ付通牒ス

追テ提出書類其ノ他検査施行ニ関スル細部並検査

日割ノ変更等ニ就テハ検査官ヨリ直接貴師團

「第十六師團」經理部長ニ通牒スル等

訓令案

別紙ノ通

陸軍省

第七

二月十三日

陸訓第

三

號二月十三日

第九師管各部隊會計經理實地検査日割表

昭和二年 一月廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	三十日	三十一日	二月一日	日次	曜	検査部隊
										月	歩兵第三十六聯隊
										火	旅行
										水	歩兵第七聯隊
										水	騎兵第九聯隊
										土	山砲兵第九聯隊
										日	工兵第九聯隊
										月	輜重兵第九大隊
										火	

摘

要

一本表ノ外検査部隊
以外ノ部隊ヲ視察
スルコトアリ、
ニ検査部隊ノ順序ハ
狀況ニ依表更スルコ
トアリ

1876

四	三	二
日	日	日
金	水	水

第九師團司令部

第十七師管各部隊會計經理實地検査日割表

昭和二年 二月十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日

日次 曜 検査部 隊 摘要

二十一日	二十日	十九日	十八日	十七日	十六日	十五日	十四日	十三日	十二日	十一日	十日	九日	八日	七日	六日	五日	四日	三日	二月	一日
騎兵第二聯隊	步兵第九聯隊(第三大隊ヲ除)	步兵第九聯隊(第三大隊)	旅 行	明野陸軍飛行學校	步兵第三十三聯隊															

一 本表ノ外検査部隊以外ノ部隊ヲ視察スルコトアリ

二 検査部隊ノ順序ハ狀況ニ依リ変更スルコトアリ

二日	三月一日	二月	二七日	二六日	二五日	二四日	二三日
水	火	月	日	土	金	水	水
第十大師団司令部		京都衛戍病院		工兵第十六大隊		野砲兵第二十二聯隊	

明野陸軍飛行學校會計經理實地検査日割表

日次

昭和二年
二月十六日
十七日

曜

水 水

検査部 隊

明野陸軍飛行學校

大阪江戸橋辰本精

大正十五年度會計經理實地検査ニ関スル件訓令案

會計經理實地検査官

検査官ハ左記ニ據リ検査ヲ施行シ検査終了後一月以内ニ其ノ成績ニ意見ヲ付シ報告スヘシ

一 検査部隊

第九、第十六師管各部隊

但シ一部ノ部隊ヲ省畧スルコトヲ得

二 検査事項

主トシテ大正十四年度及大正十五年度ニ於ケル各部隊會計經理ノ實績就中左ノ事項ヲ査察スヘシ

一 經理ノ實施ハ經費緊縮ノ方針ニ伴ヒ且軍備整理

後ニ於ケル内容充實ノ主旨ニ則リ能ク軍事ノ要求

ニ副フ如ク行ハレアリヤ

乙、不正不法不經濟ノコトナキヤ、特ニ不正行為並に經理事故發生防遏ニ関スル施設其ノ他事項

ハ、軍隊經理規程改正ニ伴フ諸施設

三、検査必要アルトキハ戰用品ニ関スル會計事務ヲ併

セテ検査スルコトヲ得

四、検査官ハ當該部隊長又ハ主任ノ官吏ニ照會シ答

辯ヲ要求シ又ハ検査上必要ト認ムル文書簿表若

ク報告ノ提出ヲ要求スルコトヲ得

五、検査官ハ検査上必要アルトキハ當該師団經理部長

ニ前項ノ答辭ニ對スル意見ヲ要求シ又ハ當該師
用經理部員ノ立會ヲ求ムルコトヲ得

六検査官ハ検査ノ結果必要ナル事項ヲ當該部隊
長若クハ所管長官ニ開示スルコトヲ得

年 月 日

陸軍大臣

陸軍

開

大

官

司

印

中

188T

陸軍省 第二三四號 武庫二五〇の號

第九第十六師管各部隊會計經理實地

検査成績報告ノ件

昭和二年五月七日會計經理實地検査官吉橋太郎

陸軍大臣白川義則殿

管題ノ件別冊ノ通報告ス

陸軍省

陸軍省 2.5.16 午前 8時

陸軍省 2.6.8 午前 9時

陸軍省 2.5.11 午前 時 主計課

陸軍省 2.5.11

陸軍省 2.5.16 午前 水 陸軍省

陸軍省 2.6.14 午前 3時 陸軍省

陸軍省 2.5.19 午前 時 陸軍省

陸軍省 2.7.2 午前 10時 陸軍省

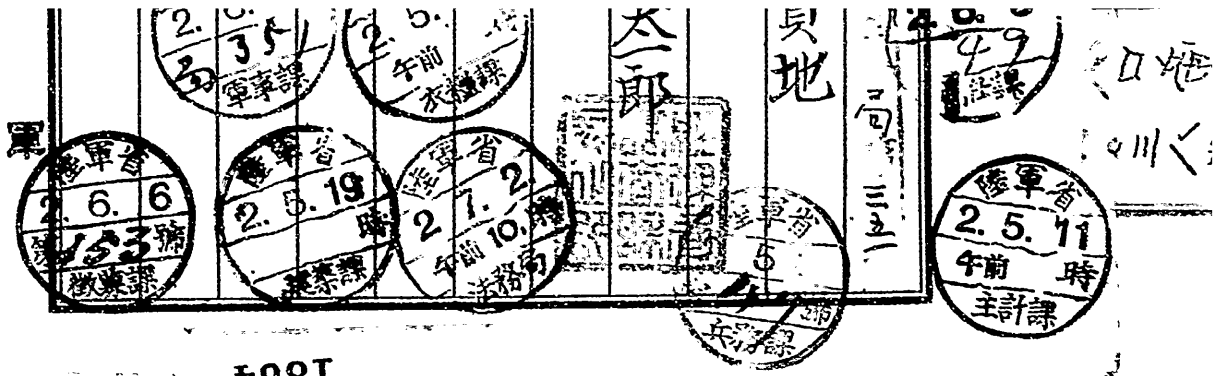
陸軍省 2.6.6 午前 時 陸軍省

陸軍

1884

回覽

編制



1884

回覧
 第三班
 編制
 不
 一

1885

第九第十六師管各部隊會計經理實地檢查成績報告

陸訓第三號陸軍大臣訓令ニ基キ去ル一月二十四日ヨリ二月四日ニ亘リ第九師管、二月十四日ヨリ三月二日ニ亘リ第十師管ノ左記各部隊ニ就キ大正十四年度以降會計經理ノ實績ヲ檢査セリ其ノ成績並各部隊經理實況次ノ如シ

左記

第九師管	第十師管
第九師團司令部	第十師團司令部
步兵第七聯隊	步兵第九聯隊(分屯大隊共)
步兵第三十六聯隊	步兵第三十三聯隊
騎兵第九聯隊	騎兵第二十聯隊
山砲兵第九聯隊	野砲兵第二十三聯隊

									工兵第九大隊
									輜重兵第九大隊
									工兵第十大隊
									輜重兵第十大隊
									京都衛戍病院
									明野陸軍飛行學校

目次

甲、會計經理實地檢查方針

乙、檢查成績並各部隊經理實況

第一、要旨

第二、一般事項

一、師團ニ於ケル經理ノ指導及監督

二、各機關經理勤務

三、經理思想ノ普及

四、經費緊縮及消費節約

五、事務簡捷及能率増進

六、不正行為ノ防遏

七、調辦業務

八、委託檢查事務

第三 豫算及金錢事項

第四 被服事項

第五 糧秣事項(裝蹄別各事項共)

第六 物品事項

第七 管繕事項

第八 酒 保

第九 分屯大隊ニ於ケル經理

第十 軍隊經理規程改正ニ伴フ施設

第十一 學校教練及青年訓練ニ伴フ經理事項

第十二 軍備整理ニ伴フ施設並處理

丙、將來ニ関スル意見

甲 會計經理實地檢查方針

第九、第十六師管各部隊會計經理實地檢查ハ大臣訓令ニ基キ特ニ左記事項ニ重點ヲ置キ之ヲ查察シ、同時ニ各部隊ノ實情ヲ明ニシ、經理上將來中央部ニ於テ施設改善スヘキ資料ヲ得ルコトニ努メタリ

一 經理ノ實施ハ經費緊縮ノ方針ニ伴ヒ且軍備整理後ニ於ケル内容充實ノ趣旨ニ則リ、克ク軍事ノ要求ニ副フ如ク行ハレアリヤ、


二 不正、不法、不經濟ノコトナキヤ特ニ不正行為並に經理事故防遏ニ関スル注意並に施設ハ適當ナリヤ

不法、不經濟ノ事項ハ其ノ原因ヲ調査シ匡

正ノ方法ヲ研究指導ス
 軍隊經理規程改正ニ伴フ各部隊ノ施設ハ
 尙ク改正ノ趣旨ニ合致シ其ノ實效ヲ收メ
 了リヤ
 最近諸會議等ニ於ケル經理上ニ関スル大
 臣訓示、經理局長指示等中央ノ意圖ハ尙ク
 各部隊ニ徹底シアリヤ否ヤ
 師團ニ於ケル經理ノ統理指導ハ經理ノ根
 本義ニ則リ軍隊各機關ノ活動ヲ推進助長
 スルノ方針ニ依リ適切ニ行ハレアリヤ
 第九師管内各部隊ニ於ケル氣象風土ノ經理
 上ニ及ボス影響
 各部隊検査實施ニ當リテハ開始ニ先ケ中隊長

以上ノ諸官ヲ會ニ懇談ヲ催シ相互意思ノ疎通
 ヲ圖ルト共ニ中央検査ノ趣旨ヲ了解セシメ開
 放的ニ喜ンテ受檢スル如クシ真相ヲ捕捉スル
 コトニ努メタリ尚検査ハ徒ニ廣キヲ欲セス徹
 底的ニ又形式ヲ問ハス業務ノ實質ヲ主トシ且
 検査院の検査ヲ行ハサルコトトシ其ノ長所
 ハ之ヲ推賞シ缺點ハ懇切ニ指導シ各部隊經理
 ノ指導ト啓發ニ努メタリ次ニ本検査ノ際特ニ
 不正行爲其他經理事故ノ防遏ニ關シ隨員ヲシ
 テ若干ノ講話ヲ行ハシメ各部隊ノ参考ニ資シ
 タリ

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	<table border="1" data-bbox="676 488 1134 743"><tr><td data-bbox="676 488 903 743">1</td><td data-bbox="903 488 1134 743">2</td></tr></table>	1	2
1	2		
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため		
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>6年 9月 19日</p> <p>主務者又は</p> <p>撮影立会者 加部東 保夫 </p>			

乙、會計經理檢査成績經理實況
第一、要旨

項

目

概

況

一、經理ノ指導監督並經理諸施設

内容ノ充實ヲ主トシテ軍事ノ要求ニ副フ如ク實
施セラレ一般ノ成績ハ概ネ良好ナルモ師團内各部
隊ニ於テ其ノ進歩ノ状態ニ相當懸隔アルモノアリ

二、經費ノ緊縮並豫算ノ運用

定額ノ使用ニ方リテハ節約ヲ旨トシ各部隊共軍
需ノ充足ニ概ネ遺憾ナキヲ期シアリ唯演習費配
當豫算及軍隊需品費定額ニ付テハ一般ニ不足
ヲ訴ヘアル實情ナリ

三、軍隊經理規程改正ノ趣旨徹底

改正ノ要領ニ基キ效果ヲ收メツツアルモ趣旨徹底
ヲ缺クモノアリ

四、不正行為ノ防遏

諸規定ノ勵行其他ノ手段ニ依リ相當努力ヲ拂
ヒアリテ本檢査ニ於テ不正、不當ノ事實又ハ禍因ヲ
認メス

五、分屯大隊ノ經理

適當ニ行ハレアルモ事務上ノ連絡及經濟上ノ處理
ニ不利不便尠カラサルモノアルモ概ネ支障ナク實施シ
マリ

六、部外團體ノ宿泊給養等ニ關スル經理

近時頻繁ニ行ハレ之カ爲部隊ノ内務及經理事
務ハ著シク繁多ヲ来シアルモ趣旨ヲ貫徹スルニ遺
憾ナカラシメンコトヲ期シアリ

七、軍備整理ニ件ヲ施設並諸物件ノ處理

被服其他諸物件ノ處理豫期ノ如ク進捗シ着整頓ノ
域ニ進ミツツアリ

第二、金錢事項

金錢ノ保管出納ハ確實ニシテ整理亦良好ナリ

八、馬ノ給養

第二、金錢事項

近時類繁ニ行ハレ之カ為部隊ノ内務及經理事務ハ著シク繁多ヲ来シアルモ趣旨ヲ貫徹スルニ遺憾ナカラシメンコトヲ期シアリ

七、軍備整理ニ件ヲ施設並諸物件ノ處理
被服其他諸物件ノ處理豫期如ク進捗シ着整頓ノ域ニ進ミツツアリ

金錢ノ保管出納ハ確實ニシテ整理亦良好ナリ

一、入馬ノ給養

糧食ノ給養ハ調理法ノ改善燃料費ノ節約炊事設備及食器ノ改良等ニ努メ相當ノ実績ヲ收メリ、就中第九師團下ノ軍隊中ニハ炊事施設ヲ改善シ兵力ノ節用ヲ圖ル等其ノ成績顯著ナルモノアリ

第三、糧秣事項

(裝飾品等費)

賄料指定額ハ概テ適當ニシテ相當豐富ノ給養ヲ行ヒ其ノ營養價ハ平均三五。カロリー以上ヲ與ヘアリ
馬糧ノ給飼ニ関シテハ飼與區々増減飼等ノ實施ニ注意十分ナラサルモノアリ

二、裝蹄別屯ニ係ル事務

各乘馬隊共實施相當困難ノ實狀ニアルモ設備改善裝蹄費ノ節約ニ関スル工夫ト委任經理ノ運用トヨリ順調ニ行ハレアリ

一、被服經理

軍備整理ニ基ク交付被服ノ運用ニ依リテ其ノ程度ハ一般ニ向上シアリ、被服賦産ノ當平均第九師團ニ六七、月、第十師團ニ六二、月ナリ

二、縫靴工場ニ於ケル作業設備方法

各部隊共著々之カ改善ニ努メ就中第九師團下ノ軍隊中ニハ科學的管理方法ヲ採用シ其ノ実績ヲ擧ケツツアルモ一般ニ技術並工場管理ニ関シテハ尙至ラサルモノアリ
物品ノ程度ハ一般ニ良好ナラス尙將來ノ更新並改善ニ付テハ定額ニ不足ヲ来ス不ト明ナルモノ尠カラス

土地建造物ノ維持保存ノ状態ハ良好ナリ

第七、作業經理

逐年良好ナル実績ヲ擧ケ各部隊給養ニ好果ヲ及ビツツアリ

第四、被服事項

第五、陣營具練習用具
其他物品事項

第六、營繕事項

第二 一般事項

一 師團ニ於ケル經理ノ指導及監督

會計經理ニ係ル師團經理部長ノ統理及監督ハ
 西師團共概シテ陸軍經理ノ根本義ニ則リ適切
 ニ行ハレ殊ニ其ノ方針ニ於テ第九師團ハ部下
 愛護職責尊重、百事簡單主義ヲ第十六師團ハ特
 ニ軍隊本位ヲ標榜シ何レモ積極的ニ部隊ヲ指
 導シ著々其ノ實績ヲ收メツワアリ、唯各部隊經
 理ノ齊一的向上ヲ期スルコト並事務ヲ下僚ニ
 委スルノ弊ヲ匡正スルコトニ關シテハ尙指導
 上努力ヲ要スル點アリシヲ以テ之カ注意ヲ喚
 起シ置ケリ

二 各機關ノ經理勤務

部隊長ノ經理權ノ運用ハ軍隊經理規程改正ノ
 趣旨ニ鑑ミ且各隊ノ特性ニ應シ概シテ軍事ノ
 充足ニ遺憾ナキヲ期スル如ク適當ニ實施セラ
 レアリ
 經理委員其他經理當事者ノ勤務ハ何レモ其ノ
 職責ノ遂行ニ努メアルモ委員並委員助手ノ交代
 ハ近來殊ニ頻繁ナルト且諸勤務ノ繁忙ナルト
 ニ基因シ業務ノ練熟十分ナラサル爲實績其ノ
 努力ニ伴ハサルモノアリ中銃隊於ケル經理ハ
 概シテ円満ニ行ハレ就中第十六師團管下軍隊
 中積極的ニ活動シ消耗品ノ節約廢品利用等ニ
 努メ其ノ實績ヲ收メ居ルモノアルモ一般ニ中
 隊幹部ニ於テ能ク兵卒ノ諸給與ニ親炙シ被服

品其他個人支給ノ適確ヲ期スルコトニ関シテハ尙遺憾ノ點アリシテ以テ個人給與ニ對シテ滿ヲ期スル如ク指導セリ

三、經理思想ノ普及

經理思想ノ普及ニ関シテハ各部隊共教育講話、宣傳等ノ方法ニ依リ之ニ努力シ相當其ノ實績ヲ收メアルモ唯一般下士卒ニ迄委任經理制度ノ趣旨目的ヲ理解セシメ本制度ノ效果ヲ十分ニ收ムルコトニ舟テハ一層努力ヲ要スルモノアリシテ以テ能ク下士以下ニ對シテ特ニ理解セシメ置クヲ必要トスル範圍ヲ研究シ實物教育ヲ主トシ官物愛護ノ精神ヲ向上セシメ委任經理ノ運用ヲ円滿ナラシムルコトニ舟注意ヲ喚

起スル如ク指導セリ

四、經費緊縮及消費節約

經費緊縮及消費節約ニ関シテハ豫算ノ使用ヲ適切ニシ一般ノ消費ヲ節シ廢品ノ利用ヲ計リ經濟的調解ニ努メ一方下士兵卒一般ノ注意節約心ヲ喚起スル等銳意之ニ努力シ其ノ實績著シキモノアルモ唯物品支給ノ方法等ニ付テハ定量定額主義ニ偏シ現存物品ノ狀況ヲ顧慮セズ中隊ニ委シアル等節約上尙研究ノ餘地アリシヲ以テ其ノ實狀ヲ指摘シ經理當事者ノ注意ヲ喚起シ置ケリ

五、事務簡捷及能率増進

事務簡捷及能率増進ニ付テハ各部隊共相當努

力ヲ拂ヒ炊事場及工場設備ニ関シテハ其ノ機
 械ニヨリ能率的ノ改善ニ努メ殊ニ第九師團下
 ノ軍隊中ニハ其ノ設備ノ改善ニヨリ兵力ノ節
 用其他經濟上ノ點ニ於テ顯著ナル成績ヲ收メ
 アルモノアリ唯諸計畫及諸調査等事務的方面
 ニ於テ尙形式ヲ整フルノ弊ヲ存スルモノアリ
 シヲ以テ計畫及統計調査ハ之ヲ實用化セシメ
 眞ニ經理實施上ノ準繩タラシムルノ要アルコト
 又縫靴工場ニ於ケル作業能率ノ増進ニ関シテ
 ハ實施ノ實況ニ鑑ミ尙改善ノ餘地ヲ存スルモ
 ノアリシヲ以テ科學的工場管理ノ方法ヲ研究
 シ能率増進ヲ圖リ補修作業ヲ円満ナラシムル
 コトニ付注意ヲ喚起セリ

六 不正行為ノ防遏

不正行為其他經理事故ノ防遏ニ関シテハ各部
 隊共ニ之カ指導及勵行ニ勤ナカラス考慮ヲ拂
 ヒ本検査ニ於テ不正ノ事實ヲ認メス唯物品ノ
 整理並共有金俸給引去金ノ取扱ニ就テハ更ニ
 一段ノ嚴正ヲ要スルモノアリシヲ以テ過去ニ
 於ケル實例ヲ引証シ且之カ豫防上採ルヘキ手
 段方法ノ詳細ニ付講話ヲ行ヒ遺憾ナキヲ期ス
 ル如ク指導セリ

七 調解業務

調解業務ニ関シテハ西師團共合同調解ニ依リ
 テ大量購入ノ利ヲ收メ又各部隊間ノ連絡ヲ密
 ニシテ購入價格ノ適切ヲ計ル等其ノ實施ハ概

之テ適切ナルモ各部隊中ニハ今尙專業者主義
 ノ勵行十分ナラサルモノ並購入價格決定上單
 ニ供給者提出セル見積書ヲ比較スルノ之ニ止
 マリ價格ノ査定十分ナラサルモノアル等將來
 經濟的調解ノ實ヲ擧クル爲ニハ更ニ研究改善
 ノ餘地ヲ存スルモアリシヲ以テ尙一步ヲ進
 メ供給者ノ選定並市場價格ノ調査ヲ十分ナラ
 シメ調解官ノ眼識ヲ養成スル等有利ナル調解
 實施ノ方法ニ付注意ヲ喚起シ置ケリ

ハ 委託検査事項

會計検査院ヨリ委託ニ係ル検査事務ハ概不適
 切ニ實施セラレアリ唯責任解除ニ関シテハ物
 品ノ不足ヲ認めアルニ拘ラス認可狀ヲ交付セ

ル等尙其ノ取扱ヲ慎重ナラシムルヲ要スルモ
ノアリシヲ以テ注意ヲ喚起シ置ケリ

第三 豫算及金錢事項

一 豫算ノ運用ニ関シテハ緊縮セラレアル豫算ヲ
以テ克ク軍需ノ充足ヲ遺憾ナカラシムルコト
ヲ期シ各部隊共ニ銳意努カヲ拂ヒ創意工夫ヲ
廻ラシ概シテ順調ニ實施セラレアリ、唯軍需
品費ノ定額及演習費豫算ハ各部隊共一般ニ不
足ヲ訴ヘツツアル實情ニアリ

二 支出及歳入徴收事務ハ適確ニ實施セラレ決算
整理亦順調ニ行ハレアリ

三 各部隊ニ於ケル金錢ノ保管出納ハ正確ニシテ
決算整理並金錢給與ハ概シテ確實迅速ニ處理

セラレアリ

第四 被服事項

一被服經理ノ状態ハ西師團共軍隊經理規程ノ改正ニ伴ヒ師團ノ被服經理方針ヲ定メ被服ノ程度向上下在庫被服ノ整備ニ重點ヲ置キ密ニ各部隊ヲ指導シ概シテ順調ニ實施セラレアリ之カ爲西師團共團下各部隊ハ概テ齊一ノ域ニ在リ殊ニ軍備整理ニ基ク交付被服ノ運用等ニ基因シ程度並賦産ハ一般ニ向上シアリ最近ノ調査ニ係ル各隊ノ被服賦産ハ一人當平均額第九師團貳百六拾七日第十六師團貳百六拾貳日ナリ

二師團ノ定メタル被服經理方針ハ概テ各部隊ニ

徹底シテアルモ尙在庫豫備被服定數ヲ自隊ノ實情ニ應シテ之ヲ定ムルノ著意ヲ缺キ或ハ被服保存命數ノ延長等ニ関スル研究並努力十分ナラサル爲被服經理計畫ノ基礎堅實ナラサルモノアルニ依リ夫々注意ヲ與ヘ將來ニ於ケル被服經理ノ円満ナル實施ヲ期スル如ク指導シ置ケリ

三 供用被服ノ程度ハ概シテ良好ニシテ復習者用被服モ畧々整備セラレ且漸次向上ノ域ニ在リ唯復習者用準備被服ノ増加ニ伴ヒ將來ノ整備及維持ニ関スル考慮ハ尙十分ナラサル點アリシヲ以テ之カ注意ヲ喚起シ置ケリ

四 被服ノ格納保全並補修手入ハ概シテ適當ニ行

ハレアリ

五縫靴工場ノ施設ハ逐次改善ノ機運ニアリ就中
 第九師團下軍隊中ニハ積極的ニ機械化シ且科
 學的ニ工場ヲ管理シ著シク能率増進ノ實績ヲ
 收メ居ルモノアリ工卒ノ技術ハ概シテ未タ十
 分ナラス又工場設備ノ改善ニ伴ヒ工場管理ノ
 方法ヲ積極的ニ研究シ殊ニ工場作業方法ニ付
 テハ中隊主義ヲ可トスルヤ又聯隊作業ヲ可ト
 スルヤ其ノ利害得失ヲ研究シ作業ノ円満ト能
 率ノ増進ヲ期スル如ク注意ヲ喚起セリ
 六師團被服委員ノ行フ被服品ノ調達補給ハ円満
 ニ實施セラレアリ殊ニ綿糸ノ調辦ニ関シテハ
 市價下落ノ時期ヲ利用シ購入ヲ行フ等經濟的

調辨ノ實ヲ收メアリ

第五、糧秣事項(裝蹄則モ事項共)

糧秣ニ係ル經理ハ各隊ニ於テ多少ノ優劣ハ免カレサルモ何レモ研究的ニ實施シ西師團共近時一般ニ進歩ノ状態ニアリ

賄料定額ハ地方物價ノ關係並部隊兵額ノ多少ヲ參酌シ概ニ適當ニ指定セラレアル爲各部隊共相當豊富ノ給養ヲ實施シ其ノ營養價ニ於テモ平均三五〇〇カロリー以上ヲ與ヘ其ノ給養状態ハ良好ナリ

殊ニ第九師團下ニ於テハ部下愛護ノ方針ニ則リ冬期温食給與ト分配ノ均衡トニ重キヲ置キアル爲精神的ニ良感化ヲ興ヘアル如シ

二次事業務ニ関シテハ調理法ノ講習ヲ行ヒ燃料
 ノ節約ニ努メ食器ヲ改良シ温食ノ給與ヲ計ル
 等鋭意努力シ糧食給與ノ實質ハ概ネ豊富ナリ
 殊ニ第九師團各隊ニ於ケル炊事場ノ機械化ニ
 ヨル兵力ノ節約並第十六師團工兵隊ニ於ケル
 電熱器ニ依ル温食給與等改善ノ實績著シキモ
 ノアリ
 調理技術ニ付テハ一般ニ向上ノ要アリ
 三病院ニ於ケル患者食ハ先般中央部ニ於テ講習
 ノ結果著シク改善セラレ治病上ニ貢献スル所
 甚カラス
 京都衛戍病院ニ於テハ熱心研究ノ結果實績特
 ニ顯著ナリ

四、馬匹ノ飼養状態ハ概ネ良好ナルモ各隊ニ於テ
 所定ノ馬糧補給比率ノ勵行並中隊ニ於ケル給
 飼ヲ適確ナラシムル點ニ関シテハ尚十分ナラ
 サルモノアリシニ依リ注意ヲ共ヘ置キタリ
 五、裝蹄剔毛ニ係ル經理ノ實施ハ各兼馬隊共相當
 困難ノ實状ニアルモ各隊共作業設備ノ改善ヲ
 圖ク能率ノ増進、經費ノ節約ニ力メ且委任經理
 ノ運用ニ依リ概ネ順調ニ行ハレツアリ但現
 定額ハ一般ニ不足ヲ告クルノ状態ニアリ
 六、師團ノ行フ干草ノ調辦精選並補給ノ成績概シ
 テ確實円満ニ實施セラレアリ
 七、第九師團ニ於ケル搗精、製麵麩等ニ係ラル作業
 經理ノ實施ハ適當ニシテ其ノ成績ハ概ネ順調

ニ行ハレ相當ノ實績ヲ掌ケ各部隊給養上便宜ヲ得ツツアリ

第六 物品事項

一 陣管具消耗品及練習用具其他物品ノ整備保續及給與ハ概シテ適當ニ行ハレアルモ物品ノ程度ハ一般ニ良好ナラス又物品ノ保續ニ關スル方針ノ定メナキモノ及消耗品類支給方法等ニ關シ或ハ中隊ニ月々一定ノ品種數量ヲ支給シ或ハ煖爐用燃料ノ如キ中隊ノ支給量不足勝ナルニ一面定額ニ剩餘ヲ生シアルカ如キ中隊ノ實情ニ伴ハシムルノ要アルモノアリ夫々注意ヲ喚起シ置キタリ

二 物品ノ保管出納ハ確實ニシテ其ノ整理ハ概ネ

可ナリ

第七 管轄事項

一 土地建造物ノ維持保存ハ概シテ適當ニシテ豫
 算ノ使用並工事計畫及其ノ實施ハ概ホ適切ナリ
 二 委託管轄ノ範圍ハ概ホ適當ニシテ其ノ實施モ
 順調ニ行ハレアリ

三 火災豫防ニ関スル注意及施設ハ適當ナリ

第八 酒保

酒保ノ經理ハ適當ニシテ其ノ會計事務亦可ナリ

第九 分屯大隊ニ於ケル經理

大津分屯大隊ニ於ケル經理ハ概シテ順調ニ實
 施セラレ不用諸建造物モ概ホ良好ニ保持セラ
 レアルモ經理上本隊トノ連繫指導ニ付テハ

此隊ノ經理ニ改善ヲ要スルモノアルノ實情ニ
 鑑ミ一層密ニ實施スルノ要アリ又經理事務ハ
 相當繁多ナルニ拘ラス經理當務者少數ノ爲業
 務施行上不便尠ナカラサルノミナラス其ノ兵
 員ノ寡少ハ物資調辦上若干ノ不利ヲ來シアル
 且軍隊需品費等諸定額ハ分屯ノ爲特ニ其ノ不
 足ヲ感シツツアルノ實情ナリ

第十、軍隊經理規程改正ニ伴フ施設

軍隊經理規程改正ノ趣旨ハ概シテ一般ニ理解
 セラレアルモ尙往々其ノ徹底ヲ缺クル點アル
 ト實施日尙淺キトノ關係ニヨリ其ノ運用ノ實
 績ハ未タ十分ト認メ難キニヨリ改正ノ趣旨ニ
 付緊要ナル點ヲ説明シ改善スヘキ要點ニ付テ

ハ懇切ニ指導セリ

第十、學校教練及青年訓練ニ伴フ經理

事項

學校教練及青年訓練ノ實施ニ伴ヒ部外團體ノ
 宿泊給養及軍需品ノ貸與拂下等部隊ニ於ケル
 經理業務ハ概シテ順調ニ行ハレアリ然レトモ
 本業務ハ近來益々繁多ヲ加ヘアルヲ以テ將來
 事務的方面ニ於ケル負擔ノ輕減ニ付テ研究ヲ
 要スル實情ニアリ

第十一、軍備整理ニ伴フ施設及處理

一軍備整理ニ伴フ經理上ノ諸施設ハ概シテ適當
 ニシテ轉入部隊ニ於ケル經理ハ概シテ師團ノ意
 圖方針ニ融合シアリ

二軍備整理ニ依ル被服、陣管具、土地、建造物、其他諸
 物件ノ交付處、並保管等處理方法ハ適當ニシ
 テ殊ニ被服、陣管具ノ運用交付ハ概シテ適切ナ
 リ

丙、將來ニ關スル意見

一、近時思潮ノ趨向時代ノ變遷ニ伴ヒ營内下士卒兵營生活ノ施設ニハ改善ヲ要スルモノアリト認ム

時代ノ思潮ニ鑑ミ下士卒兵營生活ノ施設ニ一段ノ改善ヲ加ヘ以テ名實共ニ軍隊内務書ニ所謂一大家庭ヲラシメ融々和樂ノ間ニ團結ヲ鞏固ナラシメ軍隊ヲシテ益々健全ニ發育セシムルノ要大ナリト思惟ス

下士卒幸福増進ノ爲兵營生活ノ施設ニ改善ヲ要スルモノ一例ヲ擧ケルハ

一、下士卒集會所ノ設備改善
二、酒保ノ經營及設備改善

食堂、洗面、洗濯所、食器洗滌所、理髮所、新設又ハ設備改善

4、休養室、面會所ノ設備改善

5、室内燭力ノ増加採煖設備ノ改善

6、娛樂運動器具、圖書類ノ備付

二、軍隊經理委員ハ全部聯(大)隊本部ト爲シ且尠クモ一年間其ノ任ニ在ラシメ専心其ノ業務ニ任シ得ル如ク改ムルノ要アリ

理由

這次軍備整理ニ伴ヒ軍隊ノ内容ヲ充實シ時代ノ要求ニ合セシムル爲經理上積極的ニ改善ヲ要スルモ益々多キヲ加フルヤ明ナリ然ルニ最近各部隊ノ實情ヲ見ルニ軍隊經理

ノ實行機關タル經理委員ノ交替頻繁ニ行ハ
 レ未タ業務ニ熟セサルニ早クモ交替ヲ爲ス
 モノ多ク爲ニ努力ニ比シ実績ノ伴ハサル狀
 況ニ在リ尚近ク在營年限ノ短縮ニ伴ヒ軍隊
 練成上ノ要求ハ愈々多ク隊路ハ一層繁劇ヲ
 加フル實情ニアルヲ以テ宜シク本文ノ如ク
 專任者ヲ命シ最少ノ人員ヲ以テ克ク軍事上
 ノ要求並時代ノ進運ニ伴ハシムル如ク爲ス
 コト緊要ナルヘシ

三現時各部隊ニ於テ實施シテル修理作業ハ適宜之
 ヲ衛戍地ニ於テ取纏メ實施スル如ク制度及施
 設ヲ改正シ經濟上ノ利益ヲ收ムルト共ニ軍隊
 經理業務ノ輕減ヲ圖ルノ要アリ

理由

現時各部隊各個ニ實施シタル工場修理作業
 ハ經濟上能率上不利大ニシテ時代ノ要求ニ
 伴ハサルモノアリト信ス宜シク是等修理作
 業ハ衛戍地毎ニ取纏メ實施スル如ク制度及
 施設ヲ改善シ最少ノ人員及經費ヲ以テ克ク
 最大ノ效果ヲ發揮セシムル如ク爲スヲ必要
 トス

四、分屯大隊ヲ有スル歩兵聯隊ニ於ケル經理官ノ
 編制、委任、經理定額ハ左ノ如ク改正ノ要アリ

左記

- 一、聯隊ニ主計一計手一ヲ増加スルコト
- 二、本隊タル聯隊ノ軍隊需品費定額ハ相當増

加スルコト	理由	不 分 屯 隊 ニ 在 リ テ ハ 獨 立 隊 同 様 ノ 經 理 業 務 アリ	本 隊 ノ 業 務 ハ 之 カ 指 導 連 絡 ノ 爲 大 ニ 増	加 シ アル ノ ミ ナ ラ ス 第 十 六 師 團 步 兵 第	九 聯 隊 ノ 如 キ 師 團 司 令 部 所 在 地 唯 一 ノ	步 兵 隊 (一 大 隊 ハ 分 屯 シ アリ) ナ ル ニ 部 外	團 体 ノ 宿 泊 經 理 部 士 官 以 下 ノ 啟 育 等 負	擔 多 ク 業 務 著 シ ク 繁 劇 ヲ 加 ヘ 現 編 制 ノ	經 理 要 員 ハ 業 務 ノ 増 加 ニ 伴 ハ サル 實 情	ニ 在 リ	只 軍 隊 需 品 費 ノ 定 額 亦 指 導 連 絡 兵 營 管 理
-------	----	---	---	---	---	--	---	---	---	-------------	--

等ノ爲所要ニ對シ相當多額ノ不足ヲ來
 シ委任經理ノ負擔ヲ過重ナラシメツツ
 アリ

五特科隊(騎兵工兵及輜重兵隊)附主計ハ一等主計
 ニ改ムルヲ要ス

理由

此等特科隊ニ於ケル編制上ノ人員ハ歩砲兵
 隊ニ比シ少ナキモ經理上ヨリ云フトキハ馬
 匹ニ係ル給與練習用具ニ係ル經理等歩砲兵
 隊ニ比シ比較的多クノ業務アリ且主計一入
 ノミナルヲ以テ相當經驗ヲ有シ敏腕ナル者
 ヲ必要トス然ルニ現制ニ於テ其ノ多クハ二
 等主計ニシテ未タ業務ニ熟達セス經理モ尠

う委員又ハ中隊長ノ間ニ處シ業務上ノ處理
 充分ナラサルモノアルヲ以テ之ヲ一等主計
 ト爲スヲ可トス

六第九師團各部隊(裏日本各部隊共)ハ氣象ノ關係
 上被服乾燥場設備ヲ中隊各個ニ隨時專用シ得
 ル如ク完備ノ要アリ高之ニ伴ヒ薪炭料ヲ支給
 スルノ必要アリ

實地検査報告附属

第九師團於ケル炊事及縫靴工場機械等概況

1921

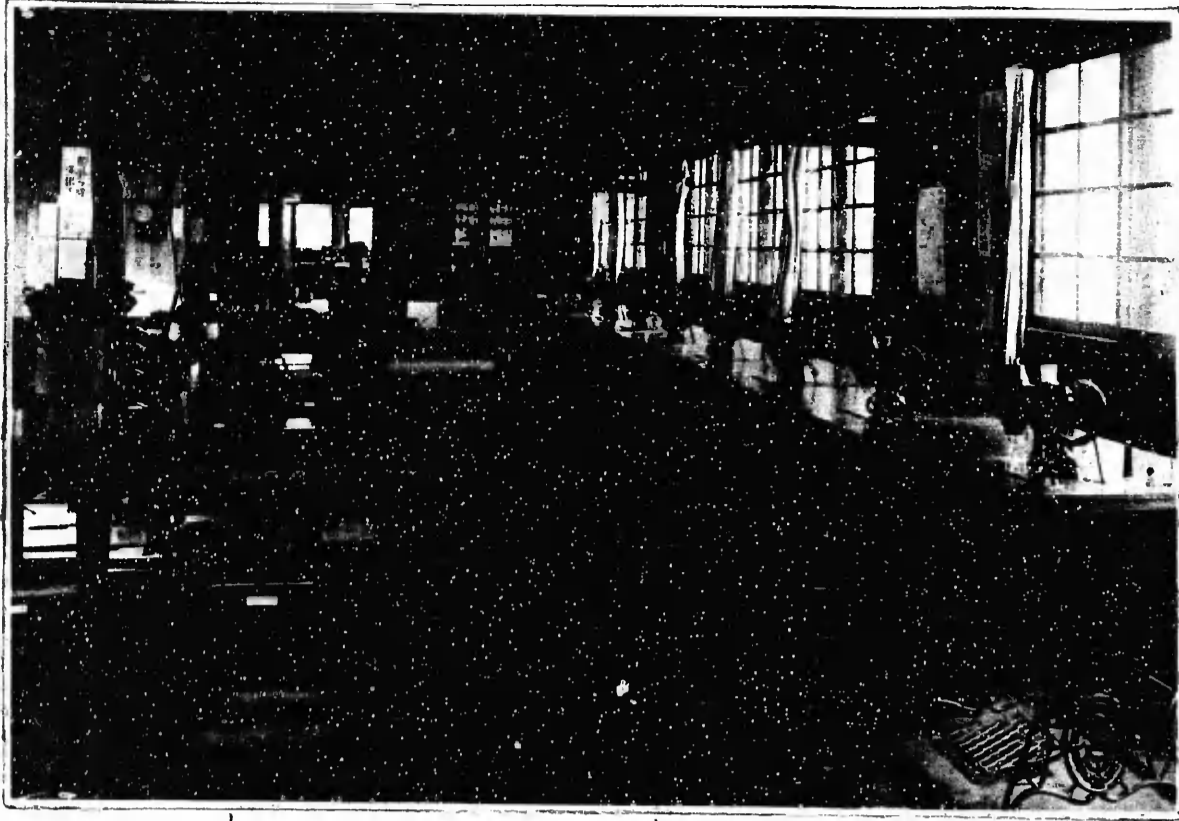
1922

實地検査報告附屬

第九師團於ケル炊事及縫靴工場機械言書概況

1921

1922



金澤歩兵第七聯隊縫工場寫真

第九師團經理部
昭和二年二月

名

稱

シンガー密針型一三号

(動力)

縁結密針

(動力)

クロー釘打機

(動力)

電気火熨斗

1923



金澤山砲兵第9聯隊縫工場写真
 名 稱

第9師団經理部
 昭和二年二月

↓
 シンガー密針四型ノ10号

(動力)

↓
 千鳥密針

(動力)

↓
 縁結密針

(動力)

1924

1925



金澤山砲兵第九聯隊縫工場寫真

第九師団經理部
昭和二年二月

名 稱

リンガー密針四型ノハ号

(動力)

千鳥密針

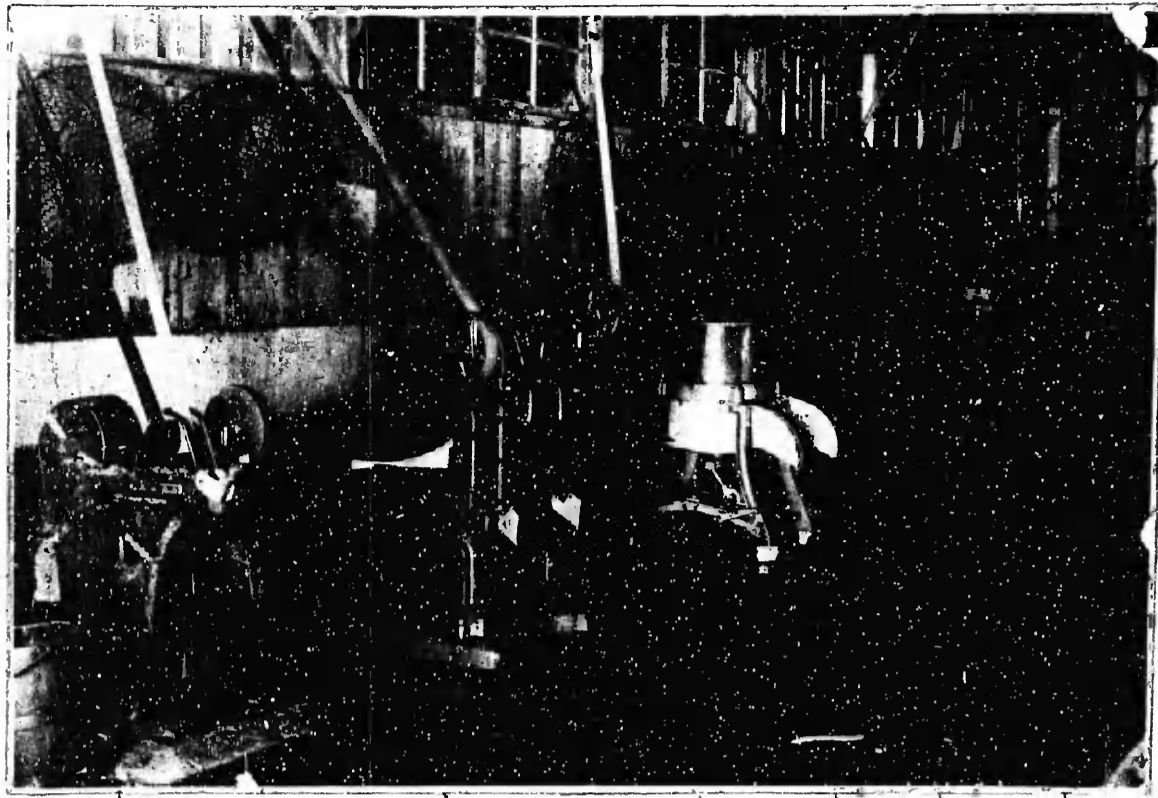
(動力)

縁結密針

(動力)

1924

1925



金澤山砲兵第九聯隊炊事場写真

第九師團經理部
昭和二年二月

名	稱	用途及能率ノ概要	價格	製造者
攪拌槽潰機		「コロッキ」鱈の味噌つみ入れ汁等ノ調理用 ノ自製、餡粉、胡麻等ノ搗潰シ乾麺起ノ 粉砕等ニ適ス手廻肉挽機ニ比シ六倍ノ 能率ヲ有ス	三・五円	東京市芝區三田 四國所 石川工場
洗米機	(四又)	主食ノ洗滌ニ手入手廻洗米機ニ比シ四倍ノ能 率ヲ有ス	二・〇円	東京市芝區西五軒 泉醸造機械株式會社
肉挽機		肉類魚類味噌等ノ搗潰ニ適ス 手廻肉挽機ノ倍ノ能率ヲ有ス	一・〇円	東京市芝區三田四國所 石川工場
野菜縦横裁断機		玉葱、甘藷、馬鈴薯等ノ根塊類ヲ縦横ニ切 断ス寸法ハ随意ニ加減スルコトヲ得ルニ 場合ニ比シ十五倍ノ能率ヲ有ス	一・〇円	
野菜小口切機		大根、人参、牛蒡、葱、菜類ノ小口切(二分ヨリ 一寸二分位迄)ニ適ス庖丁ニ比シ十五倍 ノ能率ヲ有ス	二・三〇円	金沢市新堅町丁自 三五 中村勇次郎
大根卸機		大根生姜ヲ卸ス手動ニ比シ三十大倍 ノ能率ヲ有ス	一・〇円	

其他ノ設備費、モーター(一馬力)一。〇円基礎工事費其他二三八円合計一三八三円

1926



金澤歩兵第七聯隊靴工場寫真

第九師團經理部
昭和二年二月

名 稱

踵 放 機

底 革 削 機

靴工用シंगाー密針

靴用シंगाー密針五九型

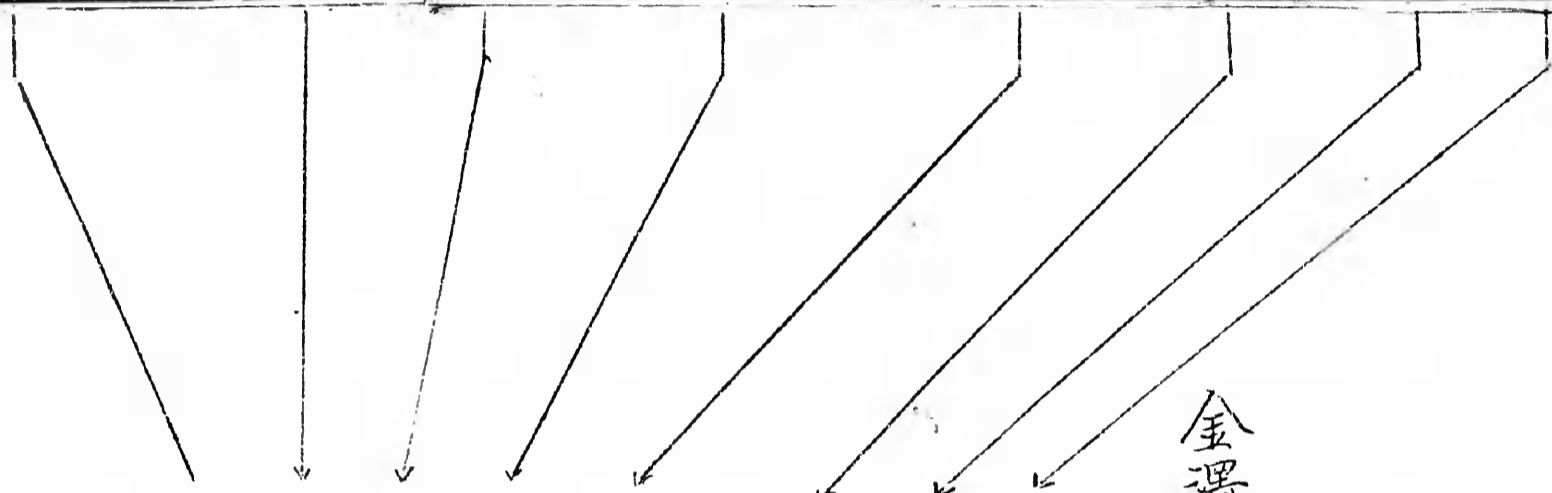
(手動)

(手動)

(手動)

(手動)

1927



- 底革削機
- 底革打抜機
- 甲革削機
- リングー密針 九型
- 獨逸密針 五号
- 名一釘打機
- クマビオン仕上機
- 金剛砥石機

- (手動)
- (手動)
- (動力)
- (動力)
- (動力)
- (動力)
- (動力)
- (動力)

金澤山砲兵第九聯隊靴工場写真

名 稱

第九師団經理部
昭和二年二月現在

1928

1929



金澤山砲兵第九聯隊靴工場写真

名
稱

第九師團經理部
昭和二年二月現在

金剛砥石機

(動力)

ケンピオン仕上機

(動力)

名一釘打機

(動力)

獨逸密針五号

(動力)

リンガー密針元型

(動力)

甲革削機

(動力)

底革打抜機

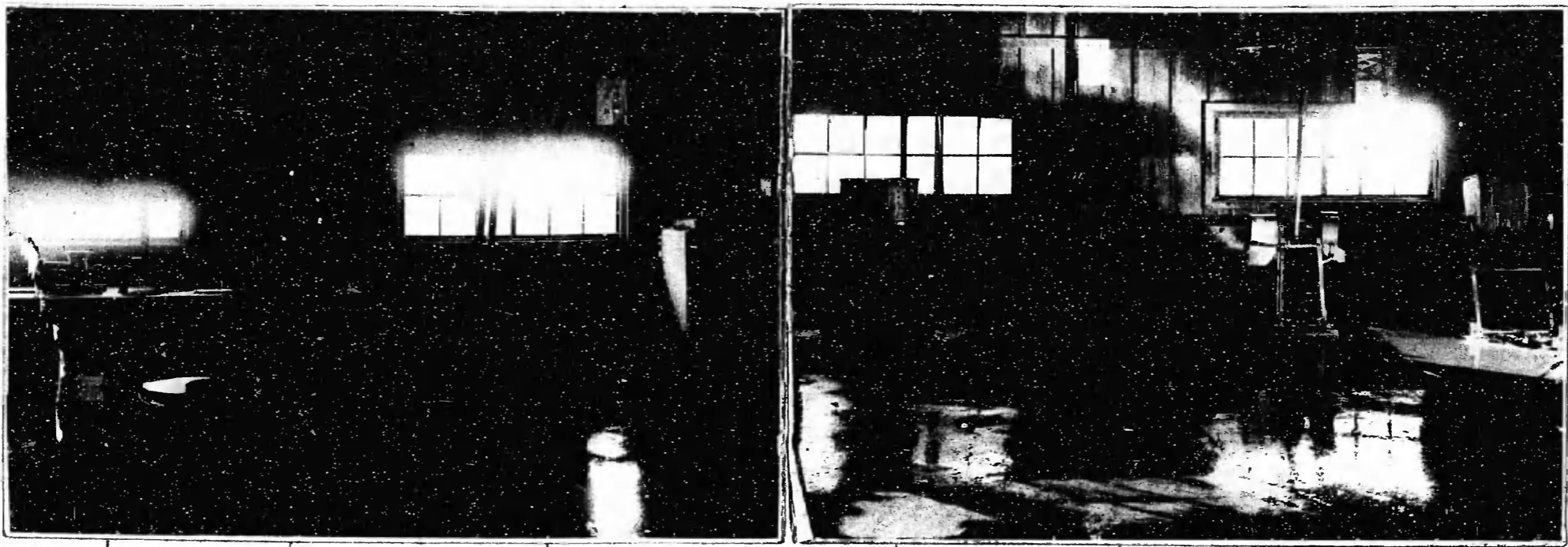
(手動)

底革削機

(手動)

1928

1929



金澤歩兵第七聯隊炊事場寫真
 第九師團經理部
 昭和二年二月
 名 稱 用 途 概 要
 洗 米 機 米 麥 ノ 洗

大根卸機
 大根 生姜 ノ 卸

野菜裁断機
 葱 入 蔘 大 根 牛 蒡 菜 類 ノ 裁 断

根塊類切断機
 芋 子 玉 葱 馬 鈴 薯 蕪 等 ノ 裁 断

牛蒡削機
 牛 蒡 ノ 削

味噌挽機
 味 噌 搗

肉挽機
 牛 肉 罐 詰 ジ ャ ム ユ ロ ッ ケ 等 ノ 調 糸

写真外削節機
 鰯 節 ス ル メ 鰹 節 ノ 削